

LIFE  
LINK

## 自死遺族支援全国キャラバン プロジェクト

～地域対策における官民連携の種を撒く～

NPO法人 ライフリンク  
代表 清水 康之

LIFE  
LINK

## 自死遺族支援全国キャラバン

自殺対策基本法の柱のひとつでもある自死遺族支援をテーマにしたシンポジウムを、日本列島を縦断しながら、全47都道府県で開催していくオープン・プロジェクト。  
(官民学から、プロジェクト参加希望者を募ってチームを結成し、全国の自治体や民間団体と連携しながら展開する。)

【期間】 2007年4月～12月頃(北から南へ)

【進捗状況】 然るべき機関と交渉中(順調に)

## プロジェクトの目的

### 【4つのポイント】

- ◆ **全47都道府県で「自死遺族のつどい」の立ち上げ(実利)**  
→地域全体で自死遺族を支えるための仕組みの構築も
- ◆ **自死遺族支援(自殺対策)の必要性を地域に訴える啓発活動**  
→全国キャラバンをマスコミとタイアップして展開  
→各自治体のローカル報道に自殺対策キャンペーンの呼びかけ
- ◆ **「自殺予防対策のための1000人調査」との連動**  
→自死遺族に「対策立案を一緒にやりましょう」と呼びかけ
- ◆ **官民学の枠を超えた自殺対策関係者の連携基盤作り**  
→自殺対策ネットワークにもつなげる連携基盤の確立  
→目的意識の共有化/自殺対策への動機付け/キーパーソンの育成  
→「つながり」の実感/「つながり」の連鎖/「つながり」のある地域へ

## 各自治体での開催モデル

### 【基本的な役割分担】

- 主催者はあくまでも自治体
- 民間がソフト面を担当(シンポの内容・演者との交渉)
- プロジェクトチームが交渉やコーディネートをサポート

- ①プロジェクトチームから自治体の担当者へ連携の呼びかけ
  - ②自治体の「受け皿」となるキーパーソンを確定(民間の場合も)
- 以降は、プロジェクトチームと地域のキーパーソンが連携して行う
- ③シンポジウム開催に関する基本戦略の策定
  - ④マスコミと連携して地域への啓発活動(事前キャンペーン)
  - ⑤開催後につなげていく